



学習面の指導するうえでも、「まずは仲良くなる
ところから」と指導員的那須さん(左)

に課題のチェックをしてもらいます。
この日は昼食づくりの日。毎週木
曜日は、生活に身近な「食」に関わる
活動で、昼食を自分たちで作ります。
支援員の大野順子さんに手順を確認
しながら自分たちで。料理が得意な
生徒が卵焼きを作ったり、苦手な生
徒はお皿を出したり。役割分担をし
て進めました。
できあがった昼食を食べながら、楽
しそうに笑顔で大野さんや那須さんと
話す子どもたち。自分のできることや
得意なことからやってみることで、少
しずつ自信がついているようでした。



笑顔で子どもたちに接している大野さん。
教室での支援だけでなく、家庭訪問による
相談も行っています



みんなで協力しながら。できた料理に大満足



生徒が手作りのゲームで使う
カードや武器

先を見つけるため
利用する生徒の保護者の一人は
「学校以外の場所で、受け入れてくれ
る人がいることは、親としても助か
ります。学習の面もサポートしても
らえることで、子どもたちの希望に
つながっています。何より、大野さん
との関わりが切れずに、成長過程を
共に見守ってもらえていることもう
れしいです」と話します。

「めだかの教室」利用までの流れ

【学校の紹介から】

① 学校から保護者に利用を紹介し、 保護者の希望があったら

所属校、教育委員会の支援会議に
めだかの教室スタッフが参加。経
過とめだかの教室を紹介する目的
を確認

【保護者の希望から】

① 保護者から 利用の希望があったら

所属校に連絡し、所属校と教育委
員会の支援会議にめだかスタッフ
が参加。経過とめだかの教室を利用
する目的を確認

② 保護者とめだかスタッフと個別面談・施設見学

- これまでの経過や保護者の思いや本人への希望を聞く
- 「めだかの教室」の意義や、保護者の希望を確認する
- 保護者とともに今後のプランを検討する

③ 体験利用

1時間程度、本人と話したり遊んだりすることを通して、施設見学を行う

④ 利用申請

方法や頻度などを本人、保護者、所属校と相談し、決定する

問合せ 飯南町教育委員会 ☎76-3944

この保護者からの感想を聞いていた
支援員の大野さんは「めだかの教室
は、居場所でもありますが、ここを
利用してもらいながら、その先を見
つける場所になればと思います」と
話します。「来てくれることが子ども
にも保護者にとっても大きな一歩。
図書館や保育所などに出席して、い
ろいろな人と関わり、いろいろな人
の生き方を知ってほしいです。学び
だけでなく、社会とのつながりを途
切れさせたくないですね」と続けま

す。大野さんは、これから子どもた
ちを支えていきます。
他者と同じ空間にすることが苦し
かったり、勉強が苦手だったり。めだ
かの教室を利用する子どもたちが学
校ではなく、ここに通う理由は一人
一人違います。
不登校の子どもたちを受け入れる
場所があり、支え、伴走してくれる大
人がある。それだけでも少し安心で
きるのではないのでしょうか。

めだかの教室

〔学校とも家庭とも違う場所で〕



不登校や不登校傾向の児童・生徒が利用する場所があります。学校とも家庭とも違うこの場所で過ごす子ども
たちがいます。今月は、そんな子どもたちのために新たに動き出した「めだかの教室」を取り上げます。

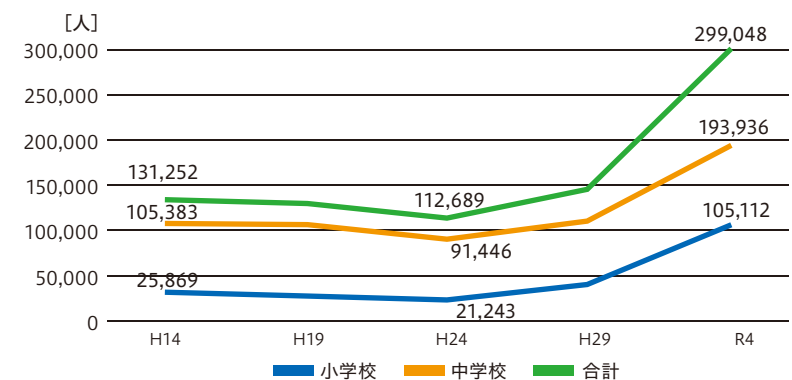
新たな居場所として

近年、全国的に不登校や不登校傾
向の児童・生徒が急増しています。文
部科学省の発表によると、令和3年
度の小中学生の不登校児童・生徒数
は全国で約30万人(グラフ参照)。そ
の背景や原因も多様化しています。
飯南町でも、不登校や不登校傾向
の児童・生徒は増加傾向。学校以外の
学びの場が必要となっています。
昨年度までは、平成24年度に開始
した一人一人の実情に合わせた支援
と指導を行うための支援教室「めだ
かの学校(来島保健センター内)」で、
中学生以上の子どもたちに対応して
きました。
今年度、町は「めだかの学校」の学習
面での支援体制を強化。新たに小学生
以上を対象に教育支援教室「めだかの
教室」として運用を開始しました。
運用開始にあたり、保健福祉課に
配属していた支援員(公認心理師)を
教育委員会に配置転換。学習指導の
ため、飯南町学習支援館の講師を指
導員として配置。支援員と指導員の
体制を整えました。今後、学校や家
庭、社会福祉協議会の運営する「ぶ
らっと」や島根県東部発達障害者支
援センター「ウィッシュ」など関係機
関と連携しながら、個々の状況に応
じてきめ細かな相談・学習支援をし
ていきます。

できることから少しずつ

「みんな集まって聞いてくださー
い」とお手製のカードゲームの説
明を始める一人の生徒。通信制の
高校に通いながら、月曜日と木曜
日に開く「めだかの教室」を利用し
ています。
この生徒を含め、この日「めだかの
教室」に来たのは3人の子どもたち。
支援員や指導員と一緒にゲームを楽
しみます。ゲームで頭と身体を使っ
た後は、勉強も。指導員的那須裕之さん

不登校児童生徒数の推移



(出典)「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」